



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

12

December

2007

vol.416

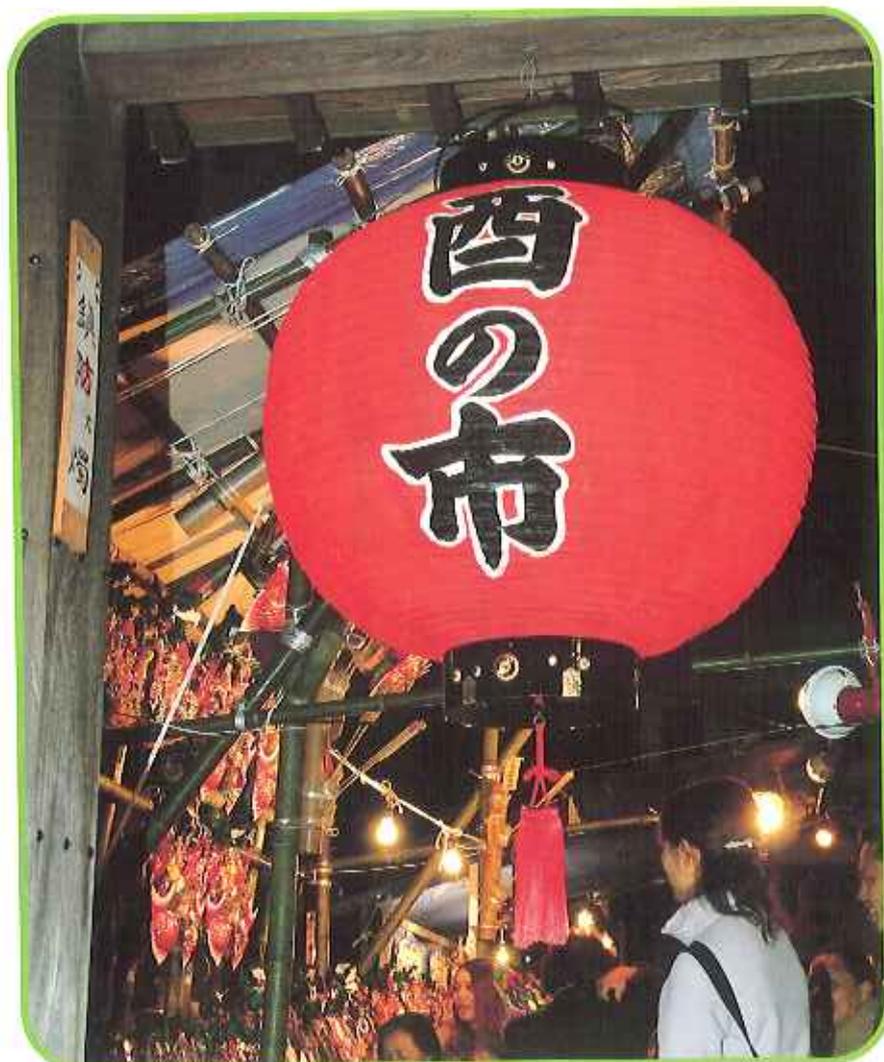
医学
調査

「アロマセラピーの本格医療への径」

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員 金井 芳之

特集

「みんなの力でみんなの幸せを」実現するために
さわらび会における医療と福祉の連携



「アロマトセラピーの本格医療への径」



ジュゲム施設長
東京大学客員研究員
金井 芳之

ゲ

ノムの解明は所謂難病と称される病気の解明において、大いなる期待が寄せられた。特にDNA塩基配列の多型、所謂シング

ルスクレオタイド・ポリモルフィズム (SNP) と言うものがひとには多

く存在し、SNPがある種の病気・病態と密接に関連することが分かってきた。家族性の多発がんなどがその

一つの例である。病気の診断や発症傾向がSNPである程度は予測可能になっ

たが、現代の最大関心事はSNPが新しい治療法の開発につながるかである。

遺

伝子の作るもの、つまり遺伝子産物を作り出す遺伝子に「構造遺伝子」と「機能遺伝子」

とがある。前者は生体の機能を司る

のに必要な蛋白質を作る為に働き、後者はその遺伝子の発現を調節する遺伝子である。いずれの産物も蛋白質であるが、蛋白質になってから糖が付加されたり、リン酸化、メチル化、アセチル化あるいはユビキチン化など多彩な生体内修飾を受けながら、蛋白質自身の機能調節が営まれている。

細

菌やウイルスの感染で惹起される感染症はその病原体の生体への侵入阻止、あるいは侵入した病原体を殺傷する抗生物質の開

発で感染防御が出来る。一方で生体内の何らかの異変によって生じる慢性疾患、例えば関節リウマチやある種のがんは、遠因としてウイルスや細菌感染が関与している可能性はあ

るものの、「機能遺伝子」の発現異常によって発症するものが知られている。最近では関節リウマチに見られる「*IL-1 β* 」と呼ばれるサイトカインの異常産生や、慢性骨髄性白血病

での「がん遺伝子」の異常発現が知られている。前者では「*IL-1 β* 」の作用を中和する抗「*IL-1 β* 」抗体が治療薬として使われているし、後者ではがん遺伝子産物阻害剤グリベックが効を奏している。これらの成果は基礎医学の成果の賜物である。

前

の二例のように基礎医学の進歩で開発された治療法はまだ少なく、決め手がなくて所謂対症療法で対応している病気・病態が

沢山ある。この場合経験的に用いられるのが漢方薬である。しかし、複数の成分が混在しているため、効果があっても、それを学問的に究明

することは容易ではない。副作用に注意して使えば患者のQOLを向上させるのでその貢献度は高い。がん

や関節リウマチと少し性質が異なるが、神経や筋肉が侵される変性疾患というのがある。その一つに痴呆(認知症)がある。神経細胞の変性、脱落、減少による認知力の低下と捉え

ることができ、依然原因は不明のままである。痴呆の治療に神経伝達物質であるアセチルコリンを分解する酵素の阻害剤が使われているが、痴呆の進行を遅らせるレベルに留まっている。

痴

呆症状が出現しても、その後多分生活様式や生活環境が、がんの発症と同様、大いに影響するものと考えられる。その点でひとの五感、即ち嗅覚、視覚、聴覚、触覚、味覚は大切なセンサーである。視覚は芸術鑑賞、聴覚は音楽鑑賞、触覚は好きなきなぬいぐるみ動物物の感触を楽しむ、嗅覚は香りのよいもの（芳香物）の香りをかぎ、そして味覚は美味しいものを味わうなど好ましい環境条件を充実させることは可能である。嗅覚、視覚、聴覚は直接脳神経に連動しているの、後述するアロマオイルによる、よい刺激は脳を活

性化して痴呆の進展抑制にも役立つ筈である。

線

維筋痛症という病気は最近特増加している慢性疾患である。これも比較的最近の話であるが、慢性疲労症候群という病気も前者の類縁疾患と捉えることが出来るかも知れない。いずれも原因不明で複雑な病態を呈するが、直接生命に

関わる病気ではない。しかし、患者にとつては生命に直接関係ないと理解出来ても、その疼痛は耐えられないくらい辛いものだという。患者自身どこを受診すればいいのかわからず、リウマチ科、整形外科、精神・神経科と転々とする。この病気を理解していない医師を受診した場合、病状は日に日に悪化する。一般的にはリウマチ科の受診が比較的安全であるが、精神・神経科のものが関与していると一つの科では対応できなくなる。

のように原因も治療方法も確立していない病気の場合、先ず患者の環境因子の改善を計った上で、薬物療法を加味することがベストだと思う。環境要因の改善という面では現在はまだ代替療法としか位置づけられていない所謂アロマテラピーが有効になる場合が多いのではないかと思う。日本語名は「芳香療法」と呼ばれていて、アロマオイル（精油）を使った非観血的間接療法（筆者の造語）と言えよう。精油とは植物の花、根、幹、樹皮などから水蒸気蒸溜などで抽出される揮発性で芳香を有した水に難溶性の炭化水素化合物で、植物を外敵から守るフェノールやテルペン系成分などを含むものである。化学組成から、根幹は三種類であるが、そこから派生する亜型は百以上にも登る。その部には医薬品として使われているものがある。しかし現時点での芳香療法は芳香を介した、鼻からの中枢神経の刺激、気管・肺胞上皮からの間

接吸収、さらに、体表皮を通しての血流への緩徐な浸透による薬理的、精神的爽快作用に留められている。

ア

ロマオイルの中枢神経系、循環系、内分泌系、代謝系、免疫系あるいは消化管に対する作用機序は不明な点が多い。今後の研究成果が大いに期待される領域であることは間違いない。



ラベンダー

効能◎鎮痛、殺菌、皮膚の若返り
鎮座、神経鎮静

ローズマリー

効能◎鎮座、鎮痛
局所的な血行促進、
殺菌、去痰

サロンの開催

田原市障害者生活支援センターでは、平成18年7月の開設時より月に一回、「田原サロン」を開催してきました。「田原サロン」とは、障害のある方の家族の皆さんや地域の皆さん、ボランティア、事業所の方：

「どなたでも構いません」とお茶を飲みながら、お茶菓子を食べながらの座談会です。会議や改まった席では話しづらいことでも気軽に話し合え、センター主催の企画の中でも人気の企画です。決まった日に、来たい時間に、世間話から福祉に至るまで自由に話せる所です。日中行っていた会も、仕事を持っている方が参加できないという「声」から、「夜のサロン」（午後7時～10時）も開催することとなりました。

内容も座談会から、時にはテーマを設けて

● 成年後見制度について

● 就労に関して

など、専門家の方をお招きし、意見交換もしてきました。サロンを通して

て、様々な田原市独自事業も生まれできました。

「サロン」の輪を今後、豊橋にも広げていく予定です。あかね荘障害者生活支援センターが中心となり、第一福祉コンビニ弥生にて「福祉サロン」を開催していきます。

様々な地域でサロンの輪が広がり地域の皆さんの声が、福祉現場に伝わっていくことを願っています。



● 田原サロンの様子

さくらんぼコンサート

田原市文化会館文化ホールにて

11月18日(日)、田原市文化会館・文化ホールにて「さくらんぼコンサート」が開催されました。

「さくらんぼの会」は、田原市内在住の障害を持ったなかま達で結成された会です。今回のコンサートは、さくらんぼの会のなかま達が企画しました。「重い障害を持った人達も気軽に音楽を聴けるコンサートがあるといいよね」という声から生まれたコンサートです。メゾソプラノの山崎知子さん、ピアノの鈴木佳代子さんに快く引き受けていただき、さくらんぼの会とジョイントすることができました。田原市との共催ということで、素晴らしいコンサートホールも貸していただきました。

プログラムは、

第一部「クラシックメドレー」

第二部「ドラム演奏・詩の朗読」

第三部「みんなで歌おう・楽しもう」

の三部構成とし、小さいお子さんか

らお年寄りまで、楽しいひとときを過ごすことができました。

当事者の会との交流も同時に行い、岡崎や名古屋の遠方から、そして豊橋の当事者団体の皆さんも参加し、総勢二八〇名の方が参加するコンサートとなりました。

最後はアンコール後、「また来年もやりたいね」という声と共に終了しました。



● 医療ケアホームのメンバーも一緒に歌いました



さわらび 大学 レポート

2007年11月8日講義

「高齢者の支援を考える」

～身体障害者編～

障害者支援施設珠藻荘 小原 正敏

障害者も40歳以上になれば介護保険の被保険者となりますが、珠藻荘やあかね荘などの入所施設は、「介護保険適用除外施設」といわれ、65歳を過ぎても介護保険に移行せずに、継続して施設の人所利用ができます。在宅で生活をされている障害者については、65歳になれば要介護認定を受け、介護保険の介護保険給付によりヘルパーを利用することになります。しかし、障害の状況によって介護保険の支給量では、生活が困難となることも予想されます。このような状況を解決するため、市町村の

判断で障害者施策より足りない給付量を補ったりして必要量を支給することが可能となります。

デイサービスでは、障害者固有のサービス（社会適応・訓練・創作活動）については、必要と認められれば障害者施策からサービスが提供されます。そして、補装具等についても介護保険でカバーできないもの等、障害者施策より給付可能となっています。

身体障害の面では、例えば脳性麻痺の方には緊張や不随意運動がみられ、入浴や排泄等に注意が必要です。また、介護損傷の方は知覚麻痺があるため、褥そう等の皮膚の異常に特に注意が必要です。その他にも、一般の高齢者とは違う身体の特徴があり、介護保険事業所にもわかり難い面があります。このような障害者の不安や、経済的事情により、介護保険施設の利用がなかなかできない方もいます。

珠藻荘は、在宅の高齢障害者や高齢の利用者ご本人が、「一番望む」らしく、幸せに暮らせること」を常に

考え支援してまいります。

2007年11月22日講義

「高齢障害者の支援を考える」

～知的障害者編～

あかね荘障害者生活支援センター長

鈴木 正俊

65歳以上の在宅の高齢知的障害者の数は、厚生労働省の調査によりますと平成17年で15万3000人と示されています。この中、在宅者は介護保険優先でサービスを利用し、介護保険適用除外施設である知的障害者援護施設あかね荘を利用している入所者は、65歳になっても引き続き障害福祉制度に則り、施設入所サービスを利用されています。

高齢知的障害者の方が、在宅・施設を問わず地域で安心して暮らすにあたって、その問題とその方策を、あかね荘における支援を通して考えてみたいと思います。

まず第一に、障害者の早期老化に伴う生活年齢と肉休年齢の相違を理

解し、身体機能の低下した利用者への安心・安全の配慮が必要となります。また高齢知的障害者の介護保険サービスの円滑利用への支援も欠かせません。

過去にあかね荘から老人福祉施設へは、6名の方が移られています。

この中、軽費老人ホームに移られた4名は、あかね荘からあかねグループホームへ、そして福祉村内の若菜荘に入所されています。移られるにあたっては、職員間の連携もありスムーズな移動となり、さらには若菜荘入所後もあかね荘に遊びに来るといふ、本人独自の生活スタイルを現させています。

あかね荘では、利用者の方への自立支援のもと個別支援計画を立て、老年期になっても生きがいのある生活が実現出来るよう支援をしていきたいと思っています。



第26回 さわらび文化祭

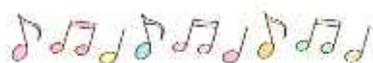
～みんなで広げよう 福祉と医療の輪～

小 春日和となった11月3日、第26回さわらび文化祭が開催されました。準備から当日に至るまでたくさんの皆様のご協力を頂きありがとうございました。

当日、第二さわらび荘での開会式には、約100名の方にご出席頂き、山本理事長の挨拶に始まり、来賓の皆様からもご祝辞を頂きました。

福祉村公園広場においては、各施設利用者の方々が、日頃行っている活動の成果を一生懸命体を使って、発表が行われました。また、福祉村マーケットも盛況のうちに終了することが出来ました。

最後には、発表者・来場者みんな一緒に“ええじゃないか”を踊り、楽しい一日となりました。

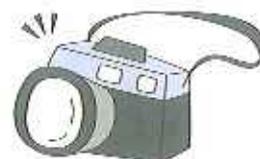
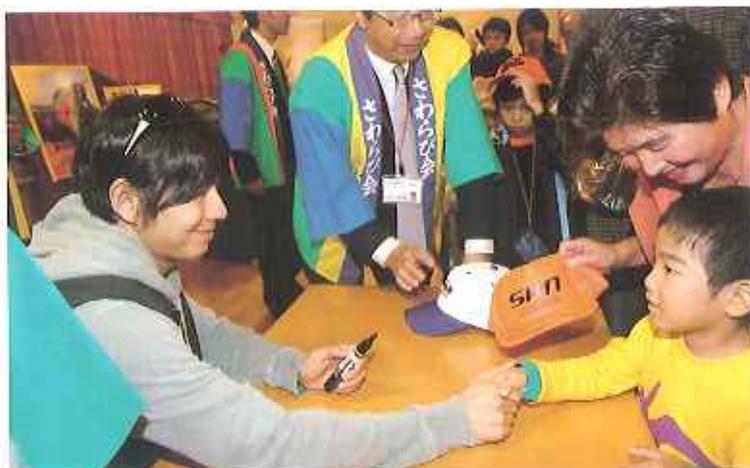


スパイカーF1チーム レーシングドライバー

山本左近選手トークライブ

忙しい合間をぬって急ぎよ東京から山本左近選手がさわらび文化祭に来村してくださり、左近選手のご好意によりトークショーとサイン会が開かれました。

予告なしの来場にファンもびっくり。握手、記念撮影と笑顔で応えてくれました。



●一人ひとり丁寧にサインをし握手をする左近選手

第26回さわらび文化祭におきまして、皆様からたくさんのご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様、ご協力ありがとうございました。

世界に羽ばたく 明日香の 天才画家



明日香の天才

画家・辻勇二さんの作品がスイス・ローザンス市にある「アール・ブリュット・コレクション（美術館）」にて展示されることとなりました。

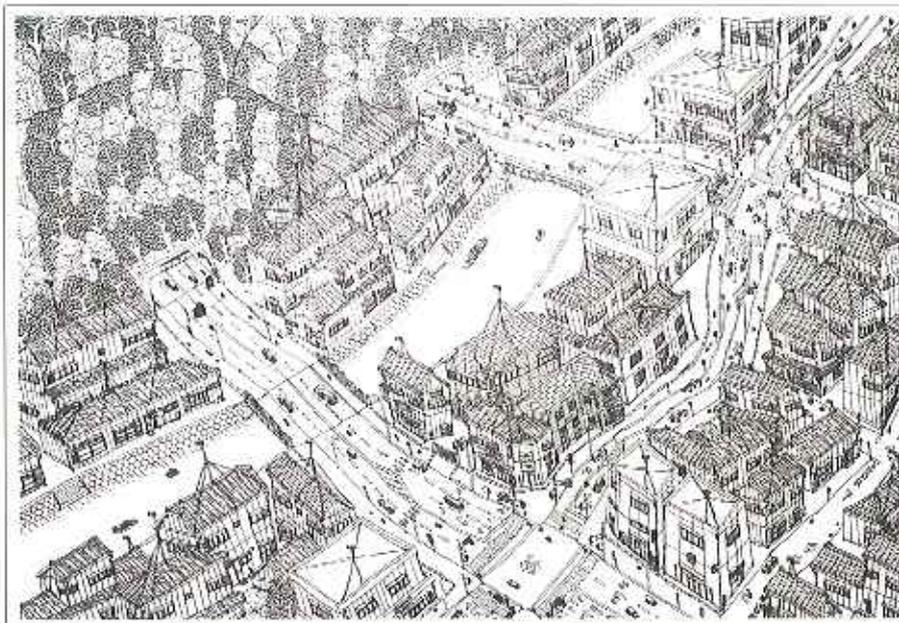
アール・ブリュット・コレクションとは1976年に創設されて以来、世界最大規模約2万点の作品収集を誇る、いわゆるアウトサイダーアート作品専門の美術館で、世界中から年間約5万人の観覧者があり、多くの人々に人間の表現力が持つあるがままの不思議な魅力を伝え、深い感動を与えています。

今回の展示のきっかけは、滋賀県にあるポータルレス・アートミュージアムAMNO・MAとアール・ブリュット

ト・コレクションが3ヶ年の計画で連携して交流事業を行うこととなったため、館長のルシアン・ベリー氏が日本の作品に大変高い関心を持ち、日本全国で発掘された厳選作品を中心に製作現場を回り、予想以上の驚きと感銘を受け、現在双方の合意により、連携展の準備が進められ

ているところですが。

日本では来年の1月から「東と西の未知なる出会い」〜アール・ブリュット・コレクションと日本のアウトサイダーアート展〜が開催され、スイスローザンスでは「日本のアール・ブリュット展」と称して来年の2月〜8月まで開催されます。



▲辻勇二さんの作品「心で現いた僕の街」

日本での開催日程

- 北海道立旭川美術館
1月17日〜2月17日
- ポータルレス・アートミュージアムNO-MA
2月下旬〜5月中旬
- 松下電工汐留ミュージアム
5月31日〜7月20日

辻さんの作品が世界で認められたことを大変嬉しく思うとともに、障害を持つていても人々に感銘を与えられる作品を作れることを多くの方に知ってもらえたらと思います。

相談支援体制圏域

アドバイザーとして

各市町村において障害者の相談支援体制を強化するため、愛知県相談支援体制整備事業がこの10月からスタートしました。この事業の中でたまたま障害者生活支援センターが東三河南部圏域の圏域アドバイザーとして、この圏域における相談支援の体制強化のお手伝いをさせて頂くことになりました。

圏域アドバイザーの役割としては
①地域のネットワーク構築への助言
②地域では対応困難な事例に係わる助言
③地域における専門的支援（権利擁護、就労支援など）
④広域的課題の解決に向けた整備体制整備への支援
⑤相談支援事業者のスキルアップにむけた支援となっています。

さわらび会ではこの地域で一足早く在宅障害者の支援事業を行ってきた実績があります。そのノウハウを生かし、この圏域の障害を持った皆さんが安心して暮らせる地域となるよう力一杯お手伝いをさせて頂きます。

（江川）

特集

さわらび会における 医療と福祉の連携

最

近では、医療と福祉の連携が重要であるという考えが中心となっていますが、さわらび会では、高齢者の健康を守るためには医療だけではなく、福祉が大変重要であるとの思いから、まだ手がける人の少なかつた三十年前から、医療と福祉を提供し、地域で困っているお年寄りの支援を始めました。

現在では、特別養護老人ホームを始め、幾つかの高齢者施設や障害者施設、病院などが開設されています。また、デイサービス・ショートステイなどの在宅サービスや相談窓口としての支援センターなど、環境の変化に適應することが困難になってきている高齢者や障害者のために安心して生活できるさまざまなサービスや環境の整備に努めてきました。

地域福祉の拠点をめざして

さ

さわらび会では、設立当初から施設を利用する方のためだけでなく、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるように「配食サー

ビス（1977）」や「訪問入浴（1979）」といった事業に取り組んで来ました。こうした取り組みは、各施設単位だけでなく、さわらび会各施設が協力し実施してきました。

培った専門性を地域に

地域で生活するお年寄りや障害者の方は、ワンコールで

誰かが駆けつけていただける病院や施設で生活する方々と違い、絶えず不安を抱えながら生活しているのが現状です。

さわらび会の各施設には「寝たきり老人の介護技術」「認知症の介護・リハビリ」「障害の状況に応じた支援・介護」というように三十年で培った多くのノウハウや専門性を蓄積しています。しかし、福祉施策は年々変わってゆき、地域の方が求めるサービスも日々変化してゆきます。そのような状況に対応するため、さわらび会では、利用者が今望んでいるサービスを必要な時に提供できるようにしたいと思っています。

現在、24時間365日、相談のできる拠点の福祉コンビニを町中に設置し、その近隣のグループホームをバックアップしながら、地域で生活する高齢者や障害者、介護する家族の相談、見守りにあたっています。

現在二カ所の福祉コンビニですが、今後も第三、第四の福祉コンビニを市内各所に配置し「いつでも、どこでも お気軽にご利用いただける在宅福祉サービスの拠点」をめざし、何か困った時には自分のお住まいの近くですぐに相談が出来る環境を提供してゆきたいと思っています。

また、「高齢になり24時間の介護、見守りがないと生活できないが、家族とも離れたくない」というこれから増えるであろうニーズにお応えできるように、さわらび会では多機能をも有した福祉村に隣接したエリアに障害者や高齢者、健常者など誰もが協力して安心して住める共同住宅のようなものができないかと模索中です。

さわらび会では、より高度な研修に多くの職員を派遣し、技術・情報

の取得をはかり、それを施設だけではなく地域の皆さんの安心に少しでもお役に立てることが出来るように活動しています。

新しい取り組みとしては「認知症サポーター養成講座」や「障害者ケアマネジメント従事者研修」への講師派遣。また、医療や福祉について専門医が分かりやすく解説し知識を深めていただき、健康維持・増進につながってほしいとの目的から、地元野依町の高齢者を対象とした「健康教室（1989）」、地域の皆さんと利用者、職員を対象とした「さわらび大学（2006）」などを開講しています。これからも、現状に満足せず、新しい技術や情報を多くの皆さんに還元、そして共有してゆこうと思っています。

みんなが安心して暮らせる社会を



療と福祉の連携と言っても現状は大変難しく、医師、

看護師、介護士、ワーカーなど様々な職種との連携を可能とするシステム

さわらび会のネットワークによる利用者支援



利用者に適した施設及びサービスの提供

の構築が重要で、そこで私たちは、高齢者担当会議、障害者担当会議、在宅医療福祉部担当会議などを各施設、病院の担当者を中心に開催をしています。各種会議では、それぞれの専門分野から見た様々なケースの直面する課題に取り組みんでいます。また、今後の私達の取り組みの方向性を示す提案などもなされます。

「どうしたら子供からお年寄りまでみんなが安心して暮らせる社会を築くことが出来るのか」それはさわらび会の永遠のテーマです。

「福祉村から地域へ、困ったらまたいつでも福祉村へ」移り変わる時代の流れを見極め、利用者から真に望まれるサービスの提供をめざしたいと思っています。
(編集スタッフ)

さわらび会の今、そして未来

福祉コンビニは24時間・365日相談の出来る地域生活の拠点として地域の高齢者、障害者が安心して住める地域生活の実現をお手伝い。

未来ゾーン

地域での生活が不安な方は福祉村やその近くに住んで頂いて福祉村スタッフがサポートできればと考えています。

さわらび荘

- 特別養護老人ホーム
- デイサービスセンター
- 地域包括支援センター

【はひ川ら】
認知症グループホーム

福祉コンビニ

- 高齢者障害者相談支援
- ホームヘルプ/デイサービス

グループホーム

第二福祉コンビニ

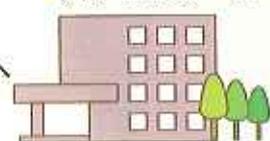
- 高齢者障害者相談支援
- ホームヘルプ

医療・福祉ゾーン

多機能を有した福祉村

- 特別養護老人ホーム
- 軽費・ケアハウス
- 老人保健施設
- 病院
- 障害者施設
- 支援センター
- デイサービスセンター など

福祉サービスを地域へ
専門知識を地域へ





激走2007 F1GP
ALDAR

左近の戦い!! 世界が認めた真の実力

今

期シーズン途中、スバイクカーF1チームからF1電撃復帰を果たした山本左近選手。

復帰後のレースはぶつづけ本番だったが、素晴らしいタイムをたたき出し、チームのエンジンブローを驚かせた。

その後のヨーロッパ三連戦では、酷暑の中でも集中力を切らすことなく見事な走りで見事な走りを見せた。

こうして迎えた母国凱旋。日本GPでは悪天候の中、応援に駆けつけたファンに、今期最高の走りを見せてくれた。決勝では霧と雨の過酷なコンディションにリタイアが続出。だからこそ左近選手の突出したポテンシャルが発揮され、名門チームが次々と倒れていくのを尻目に、見事に自己ベストの12位でフィニッシュした。

スバイクカーF1チームでの電撃参戦から、あつというまに今シーズンを走り終えたが、左近選手の瞳にはすでに来期の戦いが映っている。

○シーズンを終えて 左近選手のコメント

今年は僕にとつて、とても変化に富んだシーズンでした！シーズン初めは（SUPER）AGURIのテストドライバーで、F1に復帰するまではGP2でレースをしていました。それから、チャンスをつかんだんです。チームは違ったけど、スバイクカーに加わるのはいい機会でしたし、彼らがF1をドライブするチャンスを与えてくれたことに本当に感謝しました。

レースでは、できる限り、生懸命がんばりましたし、僕をサポートしてくれたチームメンバークラスポンサーのみなさんに本当に感謝しています。だから、すばらしいシーズンが送れたことに、ありがとうございます。と言いたいです。



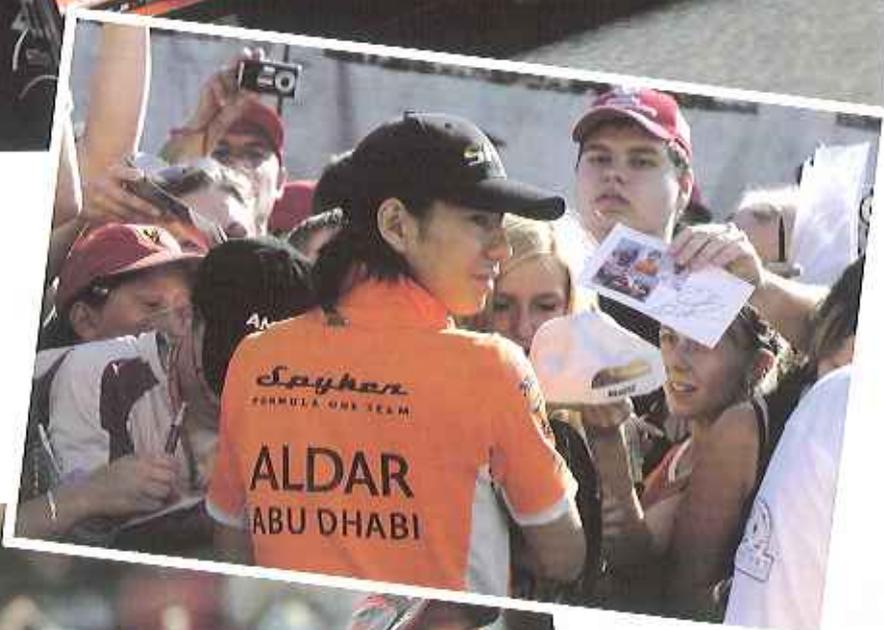
2007 F1GP Photo Message

● Photo/IMAHARA Taro (TIPP)



● ファンに応援に、見事な走りでお返してくれた。
2008はどんな感動を届けてくれるか楽しみだ!

● ファンを大切にする左近選手は、海外でも
人気は非常に高い。
どこでもすぐファンに囲まれてしまう。



● 熱い戦いを繰り広げたライバルたち。

GO SAKON
GO SAKON
GO SAKON
GO SAKON
GO SAKON

漫 浪 句 俳

直筆の書で
季節を彩る

文芸評論家・東京大学客員研究員
金井 芳之



冬至、それは地球の北半球で一日の日照時間が一番短い日のことで、十二月二十二日あたりである。今はその約一ヶ月前で、二日が一番短く感じる時でもある。こんな時、人里離れた野依は都会では味わえない、「影法師」が日に日に長くなるのを感じさせ、てくれる安寧の地なのだ。ふと辺りをみわたすと、落葉した柿がその存在をあらわにし、それは、「影法師」を長く醸し出す夕日と伴になんと長閑なことよ。

影法師
仲しの柿も
熟了たり

芳之

さわらび日記

(11月19日・10月16日・15日)

■福祉村病院・シユケム

10月16日 第一病棟、さくら通り病棟家族会秋祭展、もったいない資源再利用作品展審査(理事長出席)

18日 第一病棟家族会

20日 豊橋市社会福祉協議会主催認知症協議会にて伊勢弘之副院長が認知症について講演、アドバイザ業務を行う

23日 岡崎市清水区医師会主催認知症勉強会にて伊勢弘之副院長が「認知症の薬物療法の高齢」について講演

25日 赤い羽根街頭募金(理事長出席)

26日 新城市、新城市社会福祉協議会主催新城市老人クラブ総会にて伊勢弘之副院長が「認知症の予防」について講演

30日 認知症健康福祉部医療福祉計画課長寺田氏他2名が福祉村を視察

11月1日 さわらび大学「みんなどええる障害者の地域支援」たもむ荘障害者生活支援センター・松井伸大相談支援専門員を中心とした福祉村主催講演会にて伊勢弘之副院長が「認知症の予防」について講演

2日 21世紀産業奨励会・古東尚氏福祉村を視察

3日 福祉先生によるO.P.C. 理事長出席(福祉村病院医療課長)

6日 名古屋市長山生江野郎センター主催講演会にて伊勢弘之副院長が、認知症の世界と対応について講演

8日 さわらび文化祭

9日 院内研修会「感染症予防、実施、さわらび大学」副院長出席の支援を考へる(身体障害者福祉、珠藤井田中力副院長、小原正敏分科長)

12日 志摩市社会福祉協議会主催認知症協議会にて伊勢弘之副院長がアドバイザ業務を行う、認知症の理解と対応について講演

13日 志摩市社会福祉協議会主催クアスタツノ研修会にて伊勢弘之副院長が、認知症の現状と対応の仕方について講演

14日 志摩市社会福祉協議会主催認知症協議会にて伊勢弘之副院長がアドバイザ業務を行う、認知症の理解と対応について講演

14日 シュケム家族会

13日 シュケム総会

9日 志摩市社会福祉協議会・土佐認知症協議会にて伊勢弘之副院長がアドバイザ業務を行う、「認知症の理解と対応」について講演

14日 シュケム家族会

14日 シュケム家族会

■さわらび荘

10月16日 地域ケア会議保健師部会(松本)

17日 認知症老健協20世紀委員へ研修会(藤原 原社協)

18日 AED取り扱い訓練

19日 介護予防運動施設向上従事者講習会(認知症・松下、白井、本江、フイフボート)

23日 在宅介護支援部会(藤原、藤原、松下、渡辺、浅見、白井、第一さわらび荘、地域包括支援センター打ち合せ(松下、浅見、市役所)

24日 介護相談員研修

27日 介護ケアマネ部会(白井、名古屋、豊徳商法監理講座(白井、東、三津達郎)心筋取生とAEDの取り扱い訓練

30日 認定介護員研修(藤原、浅見、松下、浅見、島山、本江、名古屋)

11月1日 福祉村地域ケア会議(松本)、ケアコープ(松本)

2日 グループホーム海濱産康城見交換会(松本、市役所)

7日 冬物衣類販売

8日 認知症地域ケア会議(浅見、東郷社協)

12日 GH全国入会準備委員会(浅見、名古屋)

13日 防火管理士級講習会(浅見、フイフボート)

14日 養老施設院長会議(GI)協議員会議(施設長、名古屋)

10月16日 介護給付審議会(施設長、市役所)

11月1日 第4回経営企画委員会(山本施設長、名古屋)

21日 21世紀委員会(山本施設長、名古屋)

22日 全国名地協理人会(大倉海野副会長、山本施設長、岩手)

25日 全国老人福祉協議会(山本施設長、岩手、27日)

26日 認知症予防職員見学会

27日 認知症老健協(浅見、山本施設長、知久子)

30日 認知症予防研修(浅見、東郷、名古屋)

11月1日 介護給付審議会(山本施設長、名古屋)

9日 全国老健協女性委員会(山本施設長、東京)

6日 全国老健協(山本施設長、名古屋)

7日 グループホームはりはら施設改善工事打

10/18 収穫

あかね農園にて
福祉村のみんなで芋掘り



10/13 東雲町秋祭り

地域のみなさんと山車を引く!!



11/17 さわらび会
ソフトバレーボール大会

優勝チームはさわらび社「G10」

- | | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|---|--|
| <p>26日 U 相模原市立第一中学校
24日 U 相模原市立第一中学校
23日 U 相模原市立第一中学校
16日 U 相模原市立第一中学校
15日 U 相模原市立第一中学校
14日 U 相模原市立第一中学校</p> | <p>13日 U 相模原市立第一中学校
9日 U 相模原市立第一中学校
8日 U 相模原市立第一中学校
7日 U 相模原市立第一中学校
6日 U 相模原市立第一中学校</p> | <p>5日 U 相模原市立第一中学校
4日 U 相模原市立第一中学校
3日 U 相模原市立第一中学校
30日 U 相模原市立第一中学校
25日 U 相模原市立第一中学校
23日 U 相模原市立第一中学校</p> | <p>10月22日 U 相模原市立第一中学校
11月7日 U 相模原市立第一中学校
9日 U 相模原市立第一中学校
8日 U 相模原市立第一中学校
30日 U 相模原市立第一中学校
26日 U 相模原市立第一中学校
25日 U 相模原市立第一中学校</p> | <p>22日 U 相模原市立第一中学校
17日 U 相模原市立第一中学校
16日 U 相模原市立第一中学校
10月16日 U 相模原市立第一中学校
14日 U 相模原市立第一中学校
13日 U 相模原市立第一中学校
8日 U 相模原市立第一中学校</p> | <p>11月1日 U 相模原市立第一中学校
2日 U 相模原市立第一中学校
5日 U 相模原市立第一中学校
6日 U 相模原市立第一中学校
11日 U 相模原市立第一中学校
11日 U 相模原市立第一中学校
15日 U 相模原市立第一中学校</p> | <p>10月16日 U 相模原市立第一中学校
19日 U 相模原市立第一中学校
24日 U 相模原市立第一中学校
25日 U 相模原市立第一中学校
26日 U 相模原市立第一中学校
11月1日 U 相模原市立第一中学校
30日 U 相模原市立第一中学校
26日 U 相模原市立第一中学校</p> | <p>10月16日 U 相模原市立第一中学校
17日 U 相模原市立第一中学校
18日 U 相模原市立第一中学校
29日 U 相模原市立第一中学校
30日 U 相模原市立第一中学校
11月3日 U 相模原市立第一中学校
13日 U 相模原市立第一中学校</p> |
|--|---|---|--|---|--|---|--|



室戸岬の先端の最御崎寺から海岸に沿って北西へ。第二十五番宝珠山（ほうしゅざん）津照寺（しんしょうじ）まで七キロ。自動車で二十分。歩くと一緒に二十分。

室津港を見下ろす高台に建つ津照寺は昔から海上安全を守る寺として地元の漁民から厚い信仰がある。本尊は弘法大師が、刀三礼して刻んだとされる楯取地藏菩薩。「弘法大師は彫刻がうまいんだね」と小三の娘。

赤い山門をくぐると真っ直ぐな石段が青い空に



伸びている。見上げると急傾斜の階段。その途中には竜宮城のような鐘楼門があり、そこをくぐってさらに登る。百段あまりを登りきると港が見える。絶景は疲れをどこかに吹き飛ばす。母は階段の途中で何度か休んで登ってきた。

津照寺の本尊が楯取地藏菩薩と呼ばれるようになった山来は、六〇二年にさかのぼる。土佐藩主の山内一豊が室戸沖で激しい暴風雨に襲われた。そこに忽然と、人の僧侶が現れて舵をとり、船は無事に港に着いた。僧侶の後を追うと、僧侶は津照寺の本堂へ入っていった。山内一豊が本尊の扉を開けると、海水をかぶってすぶ濡れの本尊があった。その後、この寺は山内氏の祈願所となった。「こんなふうに助けてもらうにはどうしたらいいの」と中一の娘。「お参りしてね、一生懸命に頑張ること」と母。

●プレーキ・抵抗器付馬蹄型歩行器

らくらくウォーカー
ホップステップFB SM-40

6段階の幅調整が可能！小柄な方から大柄な方まで対応！
抵抗器・グリッププレー付で、安全に使用可能です。

介護保険対応

問い合わせ先

- 福祉村指定居宅介護支援事業所
☎(0532) 46-3566
- さわらび指定居宅介護支援事業所
☎(0532) 51-3521
- 福祉村病院訪問看護部
☎(0532) 46-7521(代)
- 福祉リープス
☎(0532) 66-1011

- グリップ部の長さや角度を調整できるので、ご利用者の身体状況に合わせて使うことが出来ます。
- グリップ部にはプレーキが標準装備されています。ご利用者自身で、プレーキを掛けることが出来ます。
- 中央の車輪を軸に360度回転可能。操作性が良く、廊下など狭い曲がり角でもご利用いただけます。
- ネジの締め具合により抵抗を付加することが出来ます。身体状況に合わせて車輪の回転スピードを調整出来ます。
- 使用しない時はコンパクトに折りたたみが出来ます。（折りたたみは介助者が行って下さい。）

脳梗塞の後遺症で、軽度の右マヒのあるYさん(85才)ウォーカーホップステップを使い転がることなく室内を自由に動いており、忘れかけていた笑顔が戻りました。



- ### さわらび会後援会 香附ご芳名
- H19・10・15～11・14
- 一、岡崎市井田町寺面二五〇 志萬円
 - 一、夏目正子氏 志萬円
 - 一、東京都新宿区左門町九 財団法人国民保健会 志萬円
 - 一、市内牧野町九〇 小松ウメ氏 伍千円
 - 一、市内野依町字北八 田中 稔氏 伍千円
 - 一、碧南市大浜上町一三三六 碧南マツタ田中梅夫氏 志萬円
 - 一、豊橋みなとライオンズクラブ 野依校區自治会 志萬円
 - 一、田原福祉専門学校校長 藤松谷建設 松谷英世氏 高松 徹氏 井上食品 田京豆腐店 魚支商店 志満津啓司氏 中神尚人氏 岩拾貳萬円
 - 一、市内東新町三二四 藤口区工新和 志萬円
 - 一、新城市南畑七四 光田屋 志萬円
 - 一、市内入舟町二二 藤三恵菜品 志萬円
 - 一、市内東新町六三 杉山松枝氏 伍拾萬円
 - 一、市内東雲町四七 梅村敬夫氏 志萬六千円
 - 一、市内大清水町字富士見八〇四一 藤松谷建設 志萬円
 - 一、市内小池町三六一 共和印刷 伍千円
 - 一、市内高塚町神田六八 田京敏明氏 伍千円
 - 一、市内中岩田三丁目一三三 白井良治氏 志千円

- 一、市内弥生町西豊和九一九 林 昭氏 志萬円
 - 一、市内萱町三〇 藤中野新松商店 志萬円
 - 一、市内瓜郷町前川五〇一 鈴木弘生氏 志萬円
 - 一、市内岡屋町一五九五 藤スズケン 志萬円
 - 一、市内東田町一五四 野竹田商店 志萬円
 - 一、市内飯村北二丁目二六一一六 南徳川器機店 志萬円
 - 一、市内東鴨三丁目一七 森田由利子氏 志萬円
 - 一、市内白河町一〇〇 中部ガス機 志萬円
 - 一、市内神野岸頭町 神野臨海機 志萬円
 - 一、市内野依町山中一九一四 福祉村病院職員有志 四千円
 - 一、さわらび会共同行事実行委員会 四拾貳萬七千伍百参拾伍円
 - 一、匿名希望氏 志萬円
 - 一、匿名希望氏 志萬円
 - 一、匿名希望氏 志萬円
- その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
- 計 壹百貳拾八萬七千伍百参拾伍円
- 現在までに寄附いただきました金額は 八億壹千八百四拾九萬 伍千六百拾円

●ご寄附の御礼

杉山松枝様 ありがとうございます。杉山松枝様から、善意銀行を通して多額の寄附を頂きました。ご争射は、医療・福祉の向上のために有効に活用させていただきます。と思います。

- ### インド福祉村協会 香附ご芳名
- H19・10・15～11・14
- 一、名古屋市中区新栄一七七一 東海労働金庫 四千百円
 - 一、名古屋市中昭和区山花町五〇 医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏 伍萬円
 - 一、大阪府大阪市西区江戸堀一丁目六二一五 西 典子氏 志萬円
 - 一、福岡県瀬川市旭町 四一五 古賀基子氏 貳千六百九拾六円
 - 一、市内野依町字山中一九一 研井松枝氏 伍千円
 - 一、市内浪の上町七一 山本左近氏 貳萬円

募金方法(インド福祉村)

- 振込先
郵便振替・郵便振込 口座番号
〇〇八三〇二二六五〇〇八
インド福祉村協会
■連絡先 経費老人ホーム若菜荘
番四八一一二二八まで



あすなる会より マイクロバスの寄贈

今まで運行していたマイクロバスが、今年の11月で排ガス規制により運行できなくなりました。そのため、あすなる会よりマイクロバスを寄贈していただきました。

あすなる会とは、明日香号で通勤している利用者のご家族で作業中、これまでも様々な点で、明日香を支えてきてくださいました。

これまでどおり、マイクロバス

スを運行することができ、明日香の利用者も安全に明日香まで通うことができます。本当にありがとうございます。



お礼コーナー

- ありがとうございます
- ※印は豊橋善意銀行を通じて
 - ▼社団法人 日本レコード協会様 音楽CD・テープ寄贈 (珠漢社)
 - ▼山光青果機様 (珠漢社)
 - りんご寄贈※ (珠漢社・あかね荘 第1・さわらび荘 しろがね・明日香 さわらび荘)
 - ▼株式会社 珠中央文化社様
 - ▼海毛布寄贈※ (明日香)
 - ▼武雄山後援会様 番付表寄贈※ (明日香)



▲インド福祉村病院グプタファミリーと福祉村保育園の子どもたち (11月15日)

さわらび文化祭に！山本左近選手が！！

左近選手の突然の訪問に
みんなが驚き
左近選手の優しさに
みんなの心が和む

やってきました



みんなの力でみんなの幸せ

2007年12月1日発行 早蕨 第416号

(昭和32年2月21日第三種郵便物認可)

充実した医療と福祉

- 特別養護老人ホーム さわらび荘
☎ (0532) 54-3501
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ
☎ (0532) 37-1209
- 軽費老人ホーム 若葉荘
☎ (0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
☎ (0532) 47-1050
- 知的障害者福祉施設 あかね荘
☎ (0532) 48-2825
- 福祉村病院
☎ (0532) 46-7511
- 知的障害者授産施設 明日香
☎ (0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しらかげ
☎ (0532) 48-1032
- 福祉コンビニ (東武町)
☎ (0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ 弥生
☎ (0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
☎ (0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎ (0532) 46-7501
- 田原市障害者生活支援センター (市委託)
☎ (0531) 45-3828



社会福祉法人 さわらび会

編集責任者：武田和歌 印刷：共和印刷 定価：100円

表紙作品：西光寺(豊橋市大町町)西の市

編集後記

年を重ねると一年が過ぎるのを早く感じるようになりませんか。今年もあつと、言う間に十二月、皆さんはどんな年でしたか？一瞬が連なうて、日となり、そして、一日一日の積み重ねが一年となり、一生となるわけですが、充実して幸せな一生だったと思えるようになりたいものです。そのためには、人の役に立つことを重ねながら、自己を高めてゆくことが大切だと思います。私たちの仕事は、医療と福祉を通じ地域のみなさんの役に立ち喜んでいただけるようにすることです。そんなやりがいのある仕事を今年一年無事に続けることができた私の一年は、良い年だったと思います。

(武田)